

そして、あのスペインも帰ってくる。あとは米経済の本格復帰を待つのみ。

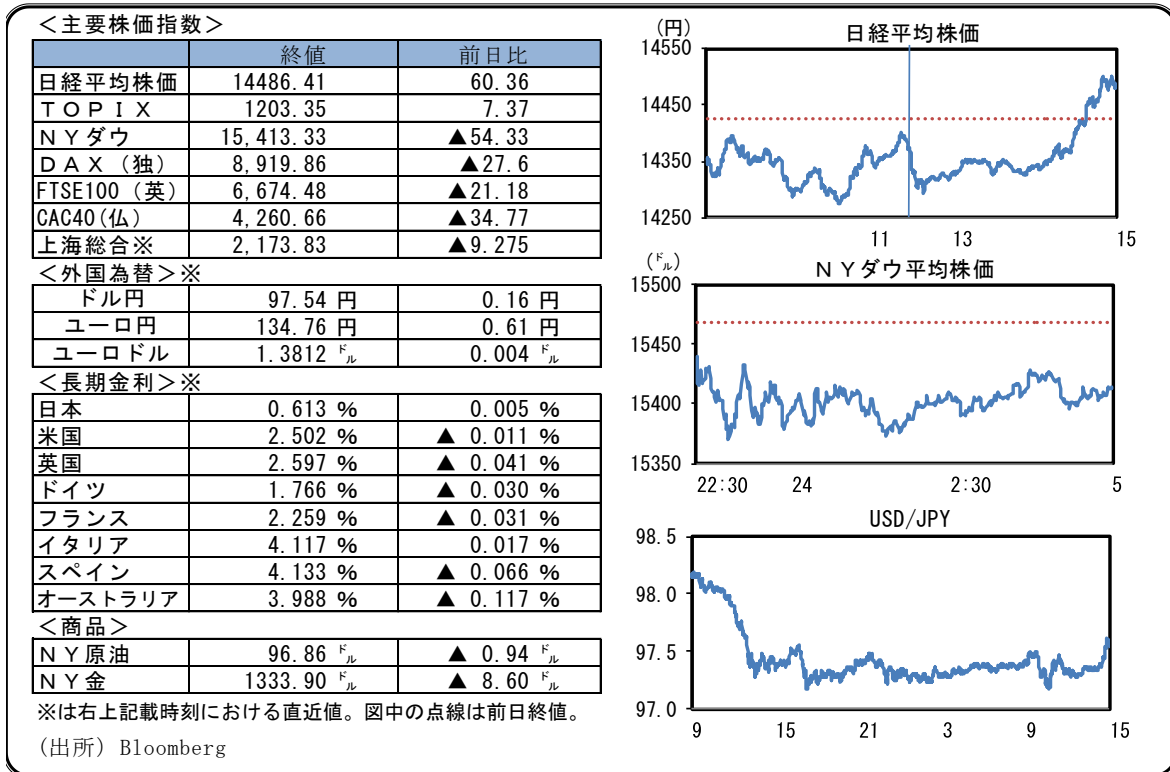
2013年10月24日(木)

第一生命経済研究所 経済調査部

藤代 宏一

TEL 03-5221-4523

15:08 現在

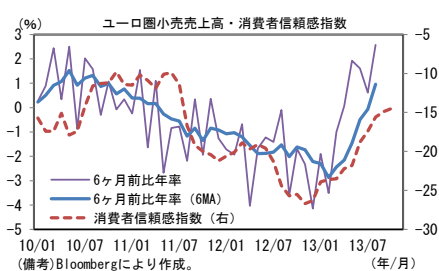
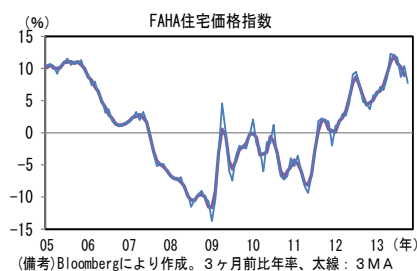


## 【海外株式市場・経済指標】 ～相変わらず堅調なユーロ圏～

23日の米国株式市場、NYダウ平均株価は反落。前日比▲54.33ドルの15413.33ドルで取引を終了。前日までのラリーの反動に加えて建機大手の決算が失望を招き、利益確定売りが優勢となった。

8月住宅価格指数は前月比+0.3%と市場予想(+0.8%)を下回った。これを年率換算すると僅か3.6%まで鈍化し、3ヶ月前比年率でも7.8%(3MA:8.9%)まで落ち込んでいる。堅調なペースであることに変わりはないため悲観論に傾けるには距離があるものの、住宅価格の上昇ペースは既にピークアウトしたと判断せざるを得ない。

10月ユーロ圏消費者信頼感指数は▲14.5と前月(▲14.9)から改善。11ヶ月連続の改善で、個人消費が4Qも増加することを示唆している。11年4Qから13年1Qまで6四半期連続マイナス寄与だった個人消費は安定成長に回帰しつつあると言えよう。

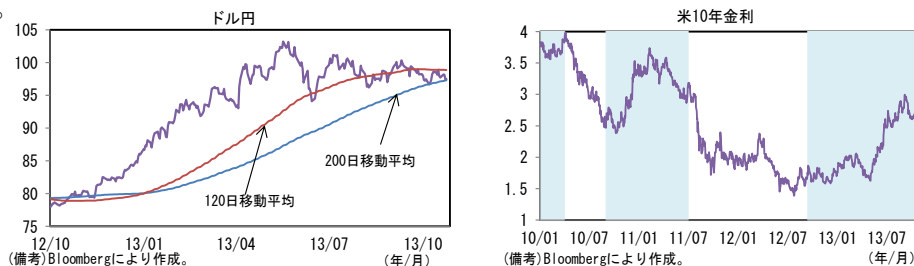


本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

## 【外国為替相場・債券市場】 ～USD/JPY：200日移動平均線の攻防～

23日の外為市場はJPYとCHFが全面高となる一方、新興国通貨が軒並み売られ、典型的なグローバルリスクオフ。USD/JPYは日本時間正午から下落をはじめ、アベトレード開始以来一度も割り込んだことのない200日移動平均線（97.30円近辺）の攻防戦に終始。24日日本時間も攻防戦は続いている。その他のG10通貨はEURを除き全般的に弱かったが、なかでもハト派のBOC声明文（利上げ文言削除）を受けたCADの弱さが目立った。BOE議事録公表後のGBPも小動き。ドルインデックスは小幅反発。原油・金はともに下落。

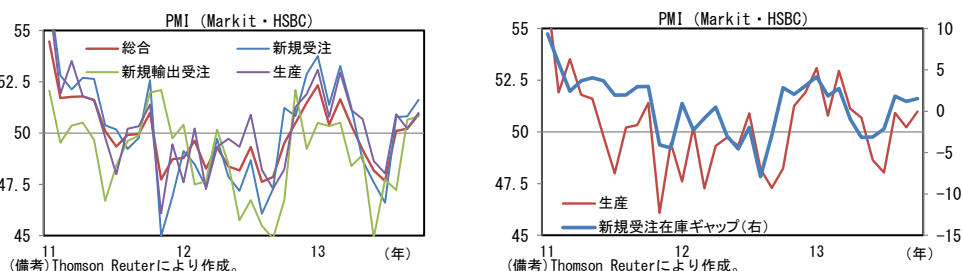
米10年金利は▲1bpの2.50%。Tapering後ろ倒し観測とリスクオフの動きが相俟って2.50%を下回る場面が多かった。秋口からの景気モメンタム鈍化も意識されているとみられ、絶対水準バイヤーは2.5%でも満足できるのかもしれない。独10年金利は▲3bpの1.77%。西10年金利は▲7bpの4.13%と約6ヶ月ぶり低水準に到達。スペイン中銀が政府統計に先立って発表したGDPが前期比+0.1%と10四半期ぶりにプラス圏に浮上したことが好感された。



## 【国内株式市場・アジア経済指標】 ～PMIは50離れ～

24日の東京株式市場、日経平均株価は反発。前日比+60.36円の14486.41円で取引を終了。前日の欧米株安を引き継ぎ軟調なスタートとなったが、中国PMIの改善が好感されたことなどから引けにかけて強含んだ。

10月中国PMI（Markit・HSBC）は50.9と前月（50.1）から改善（市場予想：50.4）。改善は3ヶ月連続。内訳をみると、生産（49.7→50.5）、新規受注（50.8→51.6）、新規輸出受注（50.7→50.8）、雇用（48.8→49.1）が揃って改善。在庫（49.6→50.1）は上昇したが、新規受注・在庫ギャップは小幅ながら拡大し、先行き増産を示唆。



## 【注目点】 ～そして、あのスペインも帰ってくる。あとは米経済の本格復帰を待つのみ～

市場は雇用統計の下振れというバッドニュースをグッドニュースに読み替えた。金融市場が悲観論に傾かずに余裕を見せるのは、FEDの金融緩和も去ることながら、欧州経済の持ち直しが大きいと筆者は考える。

市場はアップサイドリスク増幅よりもダウンサイドリスク後退を好む。世界経済の13.5%（12年PPPベース）を占めるユーロ圏のダウンサイドリスクが大幅に後退していることは極めてポジティブだ。2010年春から12年夏まで主役級の存在感を誇ったGIIPS金利がヘッドラインを飾ることはもはや無くなり、失業率も既にピークアウトした。7四半期ぶりにプラス転化したユーロ圏GDPは3Qもプラス成長を達成したとみられる。そしてスペインの成長率も10四半期ぶりにプラス領域に帰ってくる予定だ（10/30公表）。世界経済の牽引役は不在だが、かつての悪役も不在の今、あとは米経済の本格復帰を待つのみだ。それまで株式ブル派と円ベア派の期待が持続するかが勝負だろう。

## 【予想レンジ（5営業日以内）】

NYダウ平均株価 15150～15650<sup>ドル</sup> 日経平均株価 14300～14800円 ドル円 97.00～99.00円

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。